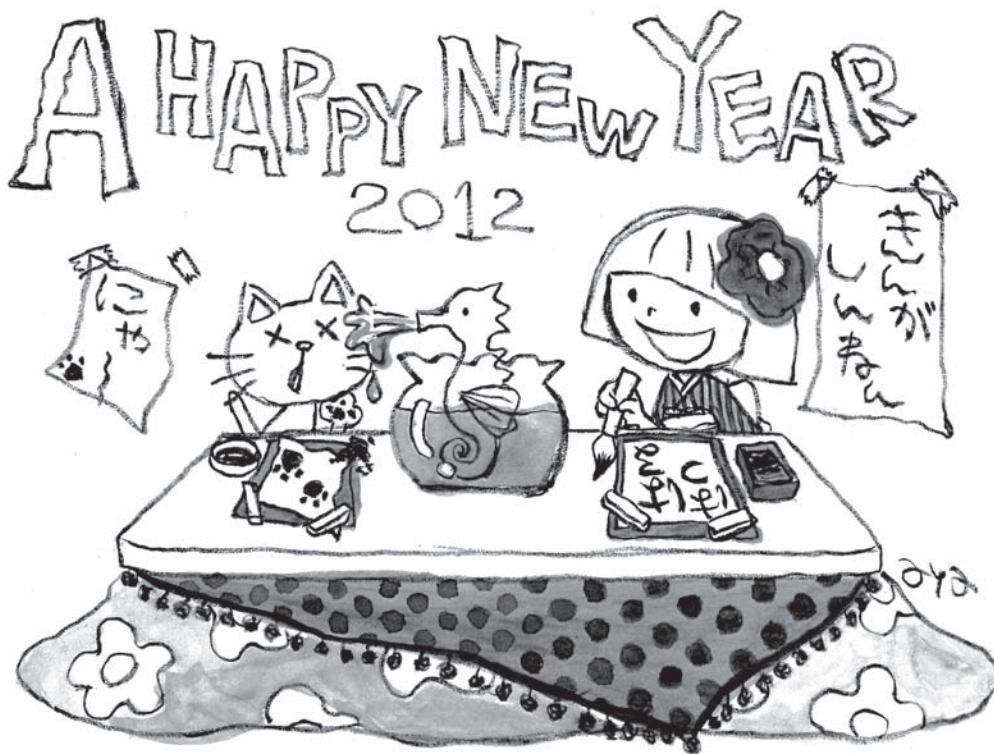


The NARA Physical Therapy Association News
奈良県理学療法士会ニュース

第134号

平成24年1月31日発行

発行：奈良県理学療法士会ニュース編集部
編集：奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科
発行所：〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目30-1
事務局：奈良県立奈良病院 リハビリテーション室内
編集長：栗本 尚樹（奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）
ホームページ：http://www11.ocn.ne.jp/~nara_pt/index.html



◆ 目 次 ◆

巻頭言	2
生涯学習部からのお知らせ	3
第52回近畿理学療法学会進捗報告！	5
奈良整形外科リハビリテーション勉強会 5周年記念講演会 “拘縮治療を考える”	6
奈良県理学療法士会 専門領域委員会 第1回健康増進・疾病予防・障害予防勉強会 開催について	8
論文投稿のお願い	9
呼吸療法認定士取得に向けた勉強会 参加者募集のお知らせ	9
平成23年度第3回研修会 ～印象記～	10
平成23年度第4回定例理事会議事録	11
平成23年度第5回定例理事会議事録	12
平成23年度第6回定例理事会議事録	14
賛助会員一覧・会員数・施設数動向	17

巻頭言



理事 田平 一行

新年、明けましておめでとうございます。現在、理事2期目を務めさせて頂いています畿央大学の田平です。本年も士会の活動にご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

さて、大災害のあった平成23年も終わり、災害からもうすぐ1年になります。報道によると復旧はかなり進んできたようですが、復興はまだまだの状況です。震災直後の救命を中心とした医療ではあまり活躍の場の無かった我々の職種ですが、生活の再建、運動機能の維持・改善などいわゆるリハビリテーションは、これからが本番です。昨年末に発表された今年の漢字「絆」に表されるように、忘れることの無いよう、末永く関わっていくことが大切と思います。

私は専門領域委員会の委員長を務めさせて頂いていますが、内容は主に各専門領域勉強会の管理、会員への案内などになります。今年度はその専門領域勉強会が中心となって、「県士会主催」の研修会を多数企画しました。以前は、「県士会後援」という形を取っていたのですが、日本理学療法士協会が認める履修ポイントにおいて受講者、講師ともメリットが大きくなるよう「県士会主催」の形を主に取っています。企画する勉強会の負担は大きいのですが、会員のためになるように頑張っています。まだ今年度の事業として、理学療法士等に認められた吸引の研修会（呼吸器循環器系勉強会担当）や、今年度より登録された「健康増進・疾病予防・障害予防勉強会」も2月末に研修会を企画しています。それから、昨年奈良マラソンのメディカルサポートとして奈良県士会が関わったのですが、中心になって活動したのは「スポーツ理学療法勉強会」でした。これら以外にも、「奈良整形外科リハビリテーション勉強会」、「発達障害児・者勉強会」も定期的に研修会を実施しており、「3学会合同呼吸療法認定士取得に向けた勉強会」も今年度の受験を無事終えました。これら勉強会は、会員に対していつでも門戸を開いております。気軽に代表者にお問い合わせ頂ければと思います。専門領域勉強会のことばかり書いてしまいましたが、日本理学療法士協会の大きな目的は会員の「資質向上」と「職域拡大」としてあります。この「資質向上」のためにもこれら勉強会（研修会）に参加頂ければと思います。

ところで本年は、第52回近畿理学療法士学術大会が奈良県で開催されます。テーマは「理学療法士の自覚 ～期待に応えられる知識と技術と人間性～」です。知識と技術と人間性といった「資質向上」のため、また「職域拡大」への団体としての力をつけるため、本学術大会から協力依頼があった場合は快く承諾頂きますよう宜しくお願い致します。



生涯学習部から

お知らせ

● 必須教育プログラム履修促進研修会2011について

現在、日本理学療法士協会会員歴11年日以降で新人教育プログラム未修了の会員（なお、1985年以前に入会の方は新プロ免除会員となりますので対象にはなりません）を対象に、必須教育プログラム履修促進研修会が開かれております。対象となる多くの会員各位においては、集中研修形式で新プロ修了に必要な単位取得ができる本研修会にこの機会を活用して是非ともご参加いただけるようお願い致します。なお、今年度末で必須教育プログラムを打ち切りとするため、本研修会も今年度限りとなりますのでご注意ください。

徳島会場：2月18日（土）－19日（日）

神戸会場：3月10日（土）－11日（日）

→ 詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

● 新人教育プログラムセミナー（三年次）について

新人教育プログラムセミナー（三年次）を下記の通り開催します。

日 時：平成24年2月26日（日）9：30～16：20

場 所：畿央大学 KB04教室

所在地：奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

T E L：0745-54-1601

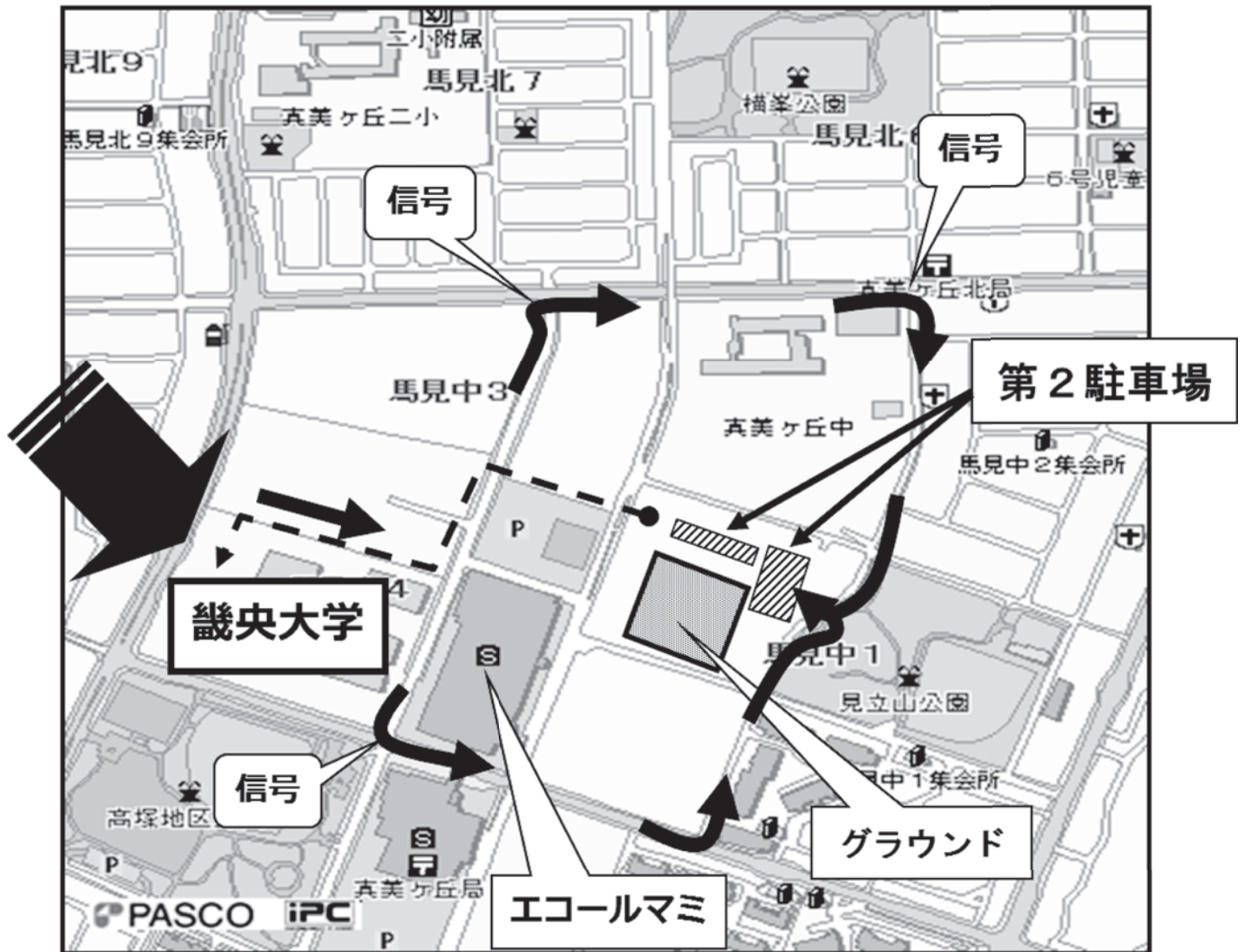
U R L：http://www.kio.ac.jp/index.html

〔内容〕

9：30～9：40	受 付
9：40～9：45	オリエンテーション
9：45～10：45	『理学療法専門領域』 田平 一行先生 畿央大学
11：00～12：00	『世界の理学療法』 福本 貴彦先生 畿央大学
12：00～13：00	昼食（60分）
13：00～14：00	『理学療法士と保険制度』 増田 崇先生 奈良県立奈良病院
14：15～15：15	『理学療法教育方法論 ―臨床実習教育を含めて―』 藤田 浩之先生 白鳳女子短期大学
15：20～16：20	単位認定・捺印および新人教育プログラム修了申請等の説明

- 生涯学習手帳、新人教育プログラム教本を必ず持参して下さい。
- 生涯学習手帳の該当項目に上記内容を記載しておいて下さい。
- セミナー開催の4単位のみ、認定費用として各1,000円が必要となります（合計4,000円）。
- 昼食は各自ご用意下さい。
- 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共の交通機関を御利用ください。
- 近鉄五位堂駅からバスにて、馬見中五丁目または真美ヶ丘センターで降りてください。

—畿央大学 第2駐車場案内図— (当日の駐車場所になります)



 が駐車スペースになります。

申し訳ありませんが、大学までは破線のコースを徒歩でお越しください。

□ 問合せ先：

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 徳久謙太郎

〒639-0214 奈良県北葛城郡上牧町上牧3238-6

TEL (0745)71-6688(代) FAX (0745)71-1111

E-mail 生涯学習部 s.nishiyamato.reha@gmail.com

第52回近畿理学療法学会学術大会進捗報告！

大会長 尾崎文彦
準備委員長 石橋睦仁

平成23年11月12日（土）

（社）日本理学療法士協会近畿ブロック
役員会にて企画案・予算案を報告

平成23年11月13日（日）

（社）滋賀県理学療法士会の担当で開催
されました、第51回近畿理学療法学会学術
大会にて次期大会長挨拶にて概要を報告

日 時：平成24年11月11日(日)

場 所：奈良県文化会館

内 容：基調講演、特別シンポジウム、
教育講演、SIG、一般演題

テーマ：「理学療法士の自覚」

～期待に応えられる知識と技術と人間性～



奈良整形外科リハビリテーション勉強会
5周年記念講演会 “拘縮治療を考える”

【日時・場所】平成24年3月20日（火・祝） 於：いかるがホール（小ホール：定員200名）

【スケジュール】

- 9：20～ 受付
9：55～ 開会の挨拶
10：00～11：20 **足関節拘縮の理学療法**
（講師：奈良西部病院 榮崎彰秀先生 司会：白庭病院 久野剛史先生）
11：25～12：35 **股関節拘縮由来の腰痛**
（講師：おおすみ整形外科 小野正博先生 司会：奈良西部病院 山田哲也先生）
12：35～13：35 昼休み
13：35～14：45 **肩関節拘縮の理学療法**
（講師：秋山整形外科クリニック 見田忠幸先生
司会：奈良リハビリテーションセンター 大窪慎一郎先生）
14：50～16：00 **T K A 術後の理学療法**
（講師：白庭病院 久野剛史先生 司会：奈良西部病院 榮崎彰秀先生）
16：00～ 閉会の挨拶

【参加費】

奈良整形外科リハビリテーション勉強会会員	無料
奈良県理学療法士会会員	500円
非会員	1,000円
学生	300円

【参加申込】

F A Xにて参加申込を致します。（F A X 番号：0742-51-8500）

本状到着より2月29日までに氏名・所属・会員番号等を記入し、お送り下さい。

【新人教育・生涯学習基礎プログラム】

本講演会は、(社)日本理学療法士協会新人教育プログラムのトピックスに該当します。

また、専門理学療法士制度の5ポイントに相当します。参加証明書を各自保管しておいてください。

【連絡先】

奈良整形外科リハビリテーション勉強会 事務局（奈良西部病院内） 山田哲也

電話：0742-51-8700 メール：nosr_jimukyoku@yahoo.co.jp

主催：奈良整形外科リハビリテーション勉強会

後援：奈良県理学療法士会

FAX送信用用紙

FAX番号:0742-51-8500

奈良整形外科リハビリテーション勉強会 事務局(奈良西部病院内) 山田哲也 宛

奈良整形外科リハビリテーション勉強会 5周年記念講演会

“拘縮治療を考える”

No.	氏名	所属	会員番号※
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

※会員番号はPT協会会員番号をご記入下さい。

奈良県理学療法士会専門領域委員会 第1回健康増進・疾病予防・障害予防勉強会開催について

畿 央 大 学
瓜 谷 大 輔
松 本 大 輔

このたび奈良県理学療法士会専門領域委員会、第1回健康増進・疾病予防・障害予防勉強会を開催することとなりました。予防医学の観点から保健領域への職域拡大も求められている理学療法士が、理学療法の専門性によって障害者・健常者を問わず小児から高齢者までの健康増進や疾病予防、障害予防にどのように関わっていきけるかを、実践を含めた研鑽によって学んでいきたいと考えております。そこで今回は下記の内容で第1回勉強会を開催したいと思っております。

- 日 時：平成24年2月26日（日）
場 所：畿央大学 L203講義室（奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2）
会 費：奈良県士会会員500円、奈良県士会以外1,000円
（当日徴収いたしますので、おつりのないようにご準備をお願いします。）
内 容：
13時00分～14時30分：
「健康増進における運動器理学療法」
瓜谷 大輔
（畿央大学，生活環境支援理学療法専門理学療法士，運動器専門理学療法士）
14時30分～16時00分：
「病院における健康増進・疾病予防理学療法」
永嶋 道浩 先生
（市立伊丹病院，内部障害専門理学療法士，糖尿病療養指導士）
16時00分～17時00分：
ワークショップ：測定機器使用体験
（体組成計，骨密度計，血圧脈波測定装置等を使用して測定の体験をします）
18時頃～
懇親会（近鉄五位堂駅周辺の予定，参加費4,000円程度）

参加を希望される方は以下の項目を記入の上、下記アドレスまでメールにてお申し込みください。

- ・氏名
- ・所属士会／PT協会番号
- ・勤務先施設名・電話番号
- ・懇親会の出欠

申 込 先：田中寛子（東生駒病院）p0611044@univ.kio.ac.jp
締 切 日：平成24年2月20日

- ※ 修了者には修了証書を発行致します
- ※ 本研修会は奈良県理学療法士会の後援を受けています

論文投稿のお願い

奈良県理学療法士会
学術誌部 松尾 篤

寒冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

「奈良理学療法学」への論文投稿のお願いです。今年の投稿論文は、現在までのところ1件です。「投稿論文をただ待つ」という態度は、ダメなものではないかとも思いますが、おそらく素晴らしくエレガントな解決策はないようにも思っています。そんなわけで、今回は「論文を書くために必要なこと」についてご紹介をしてみようと思います。

まず大切なことは、「日頃から医学研究論文を読み、論文の流れに慣れることである。」論文が、どのような構成で書かれているかを知ることが重要です。次に、「日頃から文章を書くことである。」これは日記ではなく、学生時代に書いた症例レポートなどを想像してください。担当症例の事象に関して、科学的・専門的考察を加えてまとめてみることです。学会抄録程度の文量では、短すぎるので症例レポートまで書いてみるのが大切だと思います。この2点をじっくりと、しっかりと実践する際には、科学的思考が要求され、さらに読み手に伝えるための文章作成スキルが要求されます。「好意を持った相手にラブレターを書くように」が、論文執筆においては重要になります。素晴らしい研究成果でも、読者に伝わらなければ意味がありません。習得には時間はかかりますが、これは日々の習慣が決め手です。言い換えると、日々の習慣があれば習得可能なスキルになります。「継続は力なり」を信じて是非実践をしてみましょう。みなさま方の積極的な論文投稿をお待ちしております。

呼吸療法認定士取得に向けた勉強会 参加者募集のお知らせ

日 時：毎月1回不定期の金曜日 19：30～21：00
場 所：奈良県理学療法士協会事務所
会 員：21名
内 容：呼吸療法認定士試験に向けて、講習テキストに沿い各メンバー持ち回りで実施
会 費：奈良県理学療法士協会会員 無料
実 績：活動開始から2年間で12名が資格取得

資格について：

近年、患者の高齢化が進むと共に、めざましい医学の進歩は高度医療の適応をますます広げており、その結果として重症患者管理の必要性と頻度もとみに増加してきています。

このため、重症患者管理の大きな柱のひとつである呼吸療法の重要性もまた、ひとしく認識されています。

すなわち、吸入療法、酸素療法、呼吸理学療法及び人工呼吸などの呼吸療法は、今や日常の重要な治療手段のひとつとして広く普及が望まれています。

このような背景があるにもかかわらず、各医療施設の共通の悩みとして、これら呼吸療法の実際に精通した医療要員の不足があげられ、このことが呼吸療法普及の大きな障害となっています。

呼吸療法を習熟し、呼吸管理を行う医療チームの構成要員を養成し、かつそのレベルの向上を図ることを目的とした資格となります。(JAAME HPより引用)

来年度以降の受験を考えている方でも結構ですので、興味を持たれている方は下記まで連絡をお願いします。

代表 坂本雅尚（所属：平成記念病院）
連絡先電話番号：0744-29-3300
連絡先e-mailアドレス：mgkx34482@leto.eonet.ne.jp

平成23年度 第3回研修会

日時：平成23年11月27日（日）

テーマ：脳卒中片麻痺へのアプローチ

講師：日浦 伸祐先生（社会医療法人大道会 森ノ宮病院）

参加人数：会員94人、非会員9人



～印象記～

今回の研修会では、森之宮病院の日浦伸祐先生をお招きして、「脳卒中後遺症者の評価と治療」をテーマに、脳神経系の解剖学、生理学を切り口として、手技的などころまで詳しく分かりやすく講義して頂きました。

印象的であったのは、脳卒中急性期の患者さんが目の前にいるならば、その患者さんは自分が思っている以上の潜在能力を持っているという言葉でした。理学療法士の介入方法ひとつで、脳卒中で障害されていない患者さんの潜在能力を引き出すことができると教えて頂きました。まずは、患者さんの症状から、生理学、解剖学的に臨床的推論を行い、問題点を抽出していきます。そして、臨床的推論を行ったうえ、座位や立位、歩行時の筋の促通方法などを動画や模擬患者によるデモンストレーションを通して指導して頂きました。私たちは、リハビリを行うとき、より近位の関節や筋に注目しがちですが、日浦先生は、ADL動作を考えた場合、上肢であるなら手の部分、下肢ならば足部といった遠位の筋や関節が重要であるとも述べておられ、自分自身の視点を変え、新たな側面から患者さんを見ることができきるきっかけになりました。

また、日浦先生は患者さんの第一印象を大事にし、表情などをよく観察するようにもご指導頂きました。リハビリを通して、患者さんの表情がどのように変化していくのか、機能面、心理面、様々なものが表情に表れてくるとおっしゃっていました。

人間の脳とはまだまだ解明されていない部分が沢山あります。それ故に理学療法の介入できる部分も数多くあるのではと感じることができた研修会でありました。

最後になりましたが、ご多忙の中、ご講義頂きました日浦先生に深くお礼を申し上げます。

（研修部 岩佐精志）

平成23年度第4回定例理事会議事録

日時：平成23年7月30日(土) 15:15～17:55
 場所：奈良県理学療法士会 事務所
 出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、松村、廣池、
 田平、中村、中西
 監事：中俣
 議事録署名人：石橋、中村
 委任状：西田
 書記：中野
 議事：1. 会長行動報告
 2. 会員異動承認
 3. 日本理学療法士協会定時総会報告
 4. 各局・部・委員会報告
 5. その他

1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 6/25 第40回（社）日本理学療法士協会 定時総会
- ／26 第21回奈良県理学療法士学会・表彰状授与式
- 7/8 理学療法啓発部会
- ／9 県医師会ならびに医学会、式典・懇親会
- ／11 公益法人化推進委員会
- ／19 調整会議
- ／20 なら新人研修システム『呼吸循環コース最終回』
- ／30 第52回近畿理学療法学会 第2回準備委員会、定例理事会 第4回

2. 会員異動承認

平成23年6月19日から7月30日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 日本理学療法士協会定時総会報告（尾崎会長）

- ・第49回全国学会の開催が神奈川県に決定。
- ・第10号議案として最初の代議員選出規程案に承認を求める件が追加。各都道府県の代議員の1票の格差をなくすような代議員の決め方に変えていく。今後、本会代議員も4名から3名に減る可能性がある。
- ・本会代議員4名は質問することなく議案に賛成した。
- ・定時総会后、レセプションが開催され、山口衆議院議員のサポートについての話があった。
- ・震災関連の報告については、次回の理事会にて西田理事より報告。本会の義援活動は継続して実施していく。

4. 各局・部・委員会報告

(1)事務局（増田理事）

- ・発送作業に関して、クロネコヤマトが封入・発送作業業務をもう行わないということで、暫定的に会員管理部が封入・発送作業業務を行っている。新たに佐川急便と契約を結ぶことが検討され、理事会にて決定された。
- ・今後は郵送物を減らしていく方針で、メルマガを活用するなど、方法は会員管理部と相談し検討していく。

(2)財務部（中俣監事）

- ・公益法人化申請において、会計報告の入力をするとエラーが出てしまう。監査役には5年以上の経理経験者か税理士等の資格者が入っていないといけない。
- ⇒以前から相談に乗ってもらっている税理士にデータ入力作業や会計監査などをお願いする方向で条件面の調整を進めていく。監査役については、監事が会計を担当していたことになるか県に確認し、検討する。
- ・士会口座の残高不足の対応をどうするのか。
- ⇒今年度は財務部から借用する。来年度は例年通り会費が入金される予定。

(3)ニュース編集部（松村理事）

- ・イラストに対する謝礼金について、理事会にて検討された。
- ⇒イラストを依頼した経緯を含め、謝礼がいいのか、契約がいいのか前任の部長に確認、相談し検討する。一度、ニュースでご本人を紹介することも検討する。
- ・現在、ニュースの送付先が定かではない。
- ⇒ニュース編集部に送付先リストを出してもらう。

(4)会誌部（松村理事）

- ・会誌のアンケートに対する返信を呼びかける。

(5)理学療法啓発部（佐藤理事）

- ・啓発部でとったアンケートの容量が大きく、現在のHPの容量では対応できない。
- ⇒県内の病院の情報を掲載することは県民に対し有益性がある。有料でHPのボリュームを増やすことが決められた。

(6)介護保険部（中村理事）

- ・介護保険部でシンポジウムを企画している。新たな事業ではなく、年間計画の中にある情報交換会という名目の中で実施する。部では熊本県から講師を招き、研修部と合同で企画したいと

の要望が出ている。

⇒急いで今年度の事業として実施する必要があるければ、事業の円滑な運営のためにも来年度事業として、事業計画及び予算立てをして進めていく。

・部から訪問リハの症例検討会を行いたいという意見が出ている。

⇒ブロック別症例検討会と別開催する必要はないと思われる。ブロック別症例検討会へ演題を出すことを推奨していく

(7)医療保険部（佐藤理事）

・来年度の同時改定に向けて、今年度は部員を数名募った。最新情報を収集し、会議を数回行っていく予定。

(8)第2回訪問リハ地域リーダー育成研修会（佐藤理事）

・7/14・15に開催され、佐藤理事が出席。昨年実施された実務者研修の成果報告と今後の課題検討がなされた。今年度も3団体合同での実務者研修を実施する方向で、介護保険部の協力も得て進めていく。

(9)近畿理学療法学会大会準備委員会（石橋理事）

・学会賞・新人賞の選考方法について検討され

た。

⇒選考は従来通り、抄録や当日の座長の推薦を参考に準備委員会、準備委員長、学会長にて選考する。

(10)ブロック活動推進委員会（増田理事）

・今年度もブロック別症例検討会を開催予定。

第1回症例検討会の開催日時

北和ブロック：日時未定

中和ブロック：平成23年11月18日（金）畿央大学

南和ブロック：平成23年10月14日（金）白鳳女子短期大学

5. その他

(1)協会への提出議題について（尾崎会長）

・近畿ブロックから2点の要望を提出する。

①新卒者の勤務先の調査ならびに各士会の情報提供について

②今後の協会主催学会の具体策の提示と各ブロック学会の位置づけについて

以上

平成23年度第5回定例理事会議事録

日時：平成23年9月3日（土） 14：35～17：10

場所：奈良県理学療法士会 事務所

出席者：理事 尾崎、増田、佐藤、松村、西田、廣池、田平、中村、中西

監事：北村、中俣

議事録署名人：松村、西田

委任状：石橋

書記：中野

議事：1. 財務報告

2. 会長行動報告

3. 会員異動承認

4. 近畿ブロック役員会報告

5. 各局・部・委員会報告

6. その他

1. 財務報告

・7/27決済で、8/19に士会へ415万円の入金があった。新入会員分はまだ入金されていない。

・公益法人化移行に関して、税理士の山本さんに依頼することとなった。費用として公益法人移行の相談料31万5千円、年間顧問料21万円、20年基

準に移行する際の相談料10万円程度の提示があった。財務部としては年間58万円予算計上している。

⇒外部監査という手法がとれるかどうか山本税理士と交渉を進める。

2. 会長行動報告（尾崎会長）

8/6 近畿ブロック委員会 第2回

／7 新人教育プログラム 1年次セミナー

／10 田野瀬衆議院議員秘書、太田氏 来訪

／17 公益法人化推進委員会 申請書類班

／23 調整会議

／26 理学療法啓発部会

／28 研修会 第2回

9/3 定例理事会 第5回

3. 会員異動承認

平成23年7月31日から9月3日までの会員異動が理事全員に承認された。

4. 近畿ブロック役員会報告（尾崎会長、佐藤理事、西田理事）

- ・会長会議では、宮城県士会からのボランティア派遣の件について話し合いがあった。ボランティア派遣に対しては協会を通し、最終的には各県士会にて判断すること、公文書での依頼に対しては士会員向けに広報することが検討された。
⇒奈良士会の対応として、派遣は難しいため、ボランティア派遣の案内があることをHPに広報する。
- ・社会局は、前回に引き続きPT週間の在り方を検討した。近畿ブロックで統一のイベントを開催することは難しいため、共通の文言を決め、各県士会においてできる範囲で行っていくことで統一を図っていく。
- ・学術局は、近畿学会に関して、和歌山県士会の監査報告と滋賀県士会の進行状況について報告があった。
- ・西田理事より震災関連の報告があった。

5. 各局・部・委員会報告

(1)介護保険部（中村理事）

- ・公開シンポジウムについて、訪問看護ステーションの連絡協議会の看護師もシンポジストとして話をしてもらって段取りをしている。訪問看護師向けに、連絡協議会へも広報して欲しいという依頼があった。
⇒士会から連絡協議会を含め、多職種へ広報する。広報文書については、協議会へ公文書にするのか案内文にするのかを問い合わせた上で決める。
- ・介護保険部で実施したアンケートのHPへの掲載については、理学療法啓発部が先行して進めているため、掲載の仕方について情報交換し、統一を図る。

(2)公開講座準備委員会（尾崎会長、中村理事）

- ・中村理事より赤松先生へ引き継ぎを行った。11/27の午後、白鳳女子短期大学にて開催予定。講師も決まり、テーマは検討してもらっている段階である。

(3)専門領域委員会（田平理事）

- ・10/30に奈良北和整形外科リハビリテーション勉強会による会員向けの症例報告会を開催予定。士会が後援する形で畿央大学にて開催。
- ・12/17に小児の勉強会を開催する予定。具体的には決まっていないが、ニュースにて案内していく。

(4)ニュース編集部（松村理事）

- ・今後も挿絵は継続して描いて下さり、本人自身も負担を感じていない。作品の作成に4～5時

間を要していることを考えると、謝礼を検討したい。

⇒必要な材料費を毎回、請求してもらう。士会としては、個展のPRであったり、イベントでの作品の展示等のバックアップを考えていく。士会から感謝状を送ることについては、表彰する時期の問題があるので、今後検討していく。

6. その他

- (1)衆議院議員田野瀬良太郎君と明日の日本を語る会について（尾崎会長）
 - ・9/23に開催され、石橋理事に出席を依頼する。
- (2)奈良脳外傷友の会について（西田理事）
 - ・脳外傷を受傷し、医療機関でのリハビリを終えた後に機能訓練等を実施すると、機能向上および維持ができるのではないかとということで、友の会より運動指導の講師としてPTを士会から派遣して欲しいという依頼があった。
⇒どういう形で関わりができるか、23日の会議で確認し、対応を検討する。
- (3)山口衆議院議員の後援会について（尾崎会長）
 - ・後援においては、士会員数801人に対し1,160人（会員の145%）を目標人数とする。
 - ・尾崎会長が後援会の各都道府県監事を務める。
- (4)大和郡山市在宅医療介護従事者講習会について（佐藤理事）
 - ・大和郡山市で医療と福祉のネットワークを作る目的で、医師や看護師や介護従事者が集まる会を立ち上げる話がある。内容としては、当番制で勉強会を定期的実施していく。11/24に第1回の勉強会が開催され、奈良士会にも共催の依頼があった。
⇒共催として奈良士会も参画する。
- (5)なら介護の日2011について（尾崎会長）
 - ・11/5（土）にかしはら万葉ホールにて開催予定。
 - ・記念講演は島田洋七さんに決まり、テーマは「家族の絆」～佐賀のがばいばあちゃん～
 - ・リハビリテーション相談コーナーでは、OT、STと一緒に1つのブースで実施する。本会からは尾崎会長、松村理事、中西理事が参加予定。

以上

平成23年度第6回定例理事会議事録

日時：平成23年10月15日（土） 15：10～18：35
場所：奈良県理学療法士会 事務所
出席者：理事 尾崎、石橋、佐藤、松村、西田、廣池、
田平、中西
監事：北村、中俣
議事録署名人：佐藤、廣池
委任状：増田、中村
書記：中野

- 議 事：1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. 全国士会長会議報告
4. 各局・部・委員会報告
5. その他

1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 9/21 第52回近畿理学療法学会 第3回準備委員会
- ／23 奈良脳外傷友の会あすか設立10周年記念式典
- ／23 衆議院議員田野瀬良太郎君と明日の日本を語る会
- ／25 なら言語聴覚の日の集い シンポジウム
- ／28 なら新人研修システム『装具・車いすコース 最終回』
- ／30 理学療法啓発部会
- 10/3 調整会議
- ／5 全国都道府県理学療法士会 会長会議・役員講習会
- ／12 第52回近畿理学療法学会 第4回準備委員会
- ／13 新人研修委員会
- ／14 南和ブロック症例検討会
- ／15 定例理事会 第6回

2. 会員異動承認

平成23年9月4日から10月8日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 全国士会長会議報告（尾崎会長）

- ・会議前に秋季役員講習会があった。
テーマ：『これからの医療・介護の供給体制について』
講師：内閣官房社会保障改革担当室長
中村秀一 氏
- ・総括報告では訪問リハステーションに関して、現状では困難な状態に陥っているとの報告があっ

た。医師会は態度が決まらず、看護協会の態度は反対。厚労省としては、医療界全体が一致すれば問題ないとの見解である。

- ・災害支援に関して、ボランティアは一旦終了となる。義援金は約460万円残るが、今後も支援が必要となるので残しておく。協会の災害対策は阪神大震災を教訓に作られているので、今回のような大規模災害に対しての対応ができなかった。
⇒対策マニュアル、災害基準の見直しを図る。
- ・学術局では、全国学術大会・全国学術研修大会のあり方に関する答申があった。
- ・教育局では、新プロ見直し後のシステムについて説明があった。
- ・社会局では、協会の広報・情報共有における問題に関し、「笑顔をあきらめない」のキャッチコピーを広めていくことや「PTあ」の見直しについての話があった。フロアからは「理学療法（士）」という言葉を使用し広めていくことの再確認や広報戦略に関して、プロに依頼する案が意見として出された。
- ・事務局では、公益社団法人日本理学療法士協会の組織改正案、IT化に関する経過、公益社団化への経過についての報告があった。
- ・職能局では、平成24年度診療報酬改定要望書についての報告があった。
- ・協会から医療・介護保険改定に関する実態調査の依頼があり、各都道府県10施設（医療保険施設：5施設、介護保険施設：5施設）程度推薦する。推薦基準は定期的に業務の管理（日報・月報・年報等）をしており、管理者がインターネットで回答ができる環境にある施設。

4. 各局・部・委員会報告

(1) ニュース編集部（松村理事）

- ・挿絵の謝礼として年間5千円程度の文具券か図書カードが妥当ではないかと部長との話ででている。
⇒現金で支払うと源泉徴収の義務が発生するので、受け取る側が使いやすい文具券や図書券等で払う。金額は1万円とする。

(2) 理学療法講習会準備委員会（石橋理事）

- ・9/4に肩関節の解剖と理学療法in奈良が畿央大学 冬木記念ホールにて開催された。
講師：信原病院 立花 孝 先生
当日運営：石橋準備委員長、峯松先生、前岡先生、協会研修部7名

参加人数：受講申込者165名、受講決定者152名、当日受講者129名、修了書発行者127名、台風の影響で受講できなかった方7名、連絡無し不参加10名

参加費は事前振込みとしたので、運営しやすかった。台風で受講できなかった方には返金。来年度も講習会の開催を検討している。

(3)第19回公開講座準備委員会（尾崎会長）

- ・具体的なテーマが決定したので、趣意書、ポスター、講演依頼等を作成する。講演依頼は直接県や市へ提出する。

(4)第20回公開講座準備委員会（廣池理事）

- ・講師に山田規畝子氏を依頼予定。三度の脳出血を発症し、高次脳機能障害、左麻痺あり、独りでの外出は不可能で、講演に行くにあたっては付き添いが必要である。

<検討事項>

- ・付き添いの方の交通費・宿泊費の出費は可能か。講演は午後なので後泊可能か。
- ・講演時間 1時間30分～2時間程度にて講演料5万円の出費は可能か。
- ・講演内容に関しては、本人のドキュメンタリービデオ放映（30分）、その後フロアからの質問に答えていく、といった形式をとりたいとのこと。この講演方法で開催可能か。
- ・予算を使って来て頂いて、それに見合った効果（参加人数増加、満足度など）は期待できるか。
⇒過去にリハセンが講師として招いているため、状況を問い合わせてみる。講演料はPTを講師とする研修会と違うため、その方の講演料に合わせた金額が良い。体調不良となった場合の対応を検討しておく必要がある。付き添いの方の交通費・宿泊費は士会より支出する。

(5)訪問リハビリテーション実務者研修会（佐藤理事）

- ・10/3に1回目の打合せを西大和リハビリテーション病院で行った。OT士会から安井先生、熊谷先生、ST士会から山口副会長が参加。今年度はOT士会がコーディネーターとなる。日程は来年の2/5（日）と3/4（日）の2回に分けて開催する予定。内容としてリスク管理と連携を含め、合計10時間実施する予定。12月から来年の頭には各施設へ案内する予定。

(6)監査報告（北村、中俣監事）

- ・10/14・15に各部・委員会の監査を行った。財務部は10/26に実施予定。HP管理部、第19回公開講座準備委員会の監査は未実施である。
⇒HP上における過去の情報の削除については、公開義務を含め今後、検討していく。

- ・総会資料に現行の定款や規程等を掲載する必要がある。

- ・会員管理部に関して、名簿の入会予定の扱いをどうするか。

⇒細則上は入会金を添えて入会となるので、入会金が支払われていないと会員ではないが、クレジットでの引き落としではタイムラグが生じるため、会費未納会員として扱う。会員の線引きを徹底するのか、猶予をもった対応とするのか検討課題とする。

- ・新人研修委員会に関して、今まで通り委員会のほうが動きやすいのか、部にしたほうが動きやすいのかを増田委員長に打診する。

- ・公益法人化後の監査に対応できるよう、監査の方法を変更しようと検討している。監事が部・委員長に対し監査を行うのではなく、業務執行理事（会長・副会長）に対し監査を行う。監査の実施時間も今までのように理事会と同時に進められないようにする。

会計においては現場が作成したものを税理士に確認してもらってから総会資料を作成するため、従来と比べ遅れる。総会の日程について検討が必要となる。

⇒次回の理事会にて、監事より正式な監査方法を報告する。

5. その他

(1)包括会員管理システムの説明会について（尾崎会長）

- ・12/3に包括会員管理システムの説明会が開催される。各都道府県2名まで出席可能であるが、費用は1名の往復費用のみ（宿泊費は含まない）協会から支給される。内容をしっかり把握してもらうため、本会からは事務局長と会員管理部長の2名出席してもらいたい。会員管理部長が研修会受講のために出席できない場合は代理を立てる。

⇒本会からは2名出席し、もう1名分の費用（宿泊費を含まない往復分の交通費）を本会から支給することが決められた。

(2)奈良マラソン2011について（尾崎会長）

- ・奈良士会を通して支援して欲しい旨を畿央大学の福本先生と相談した結果、本会へ公文書による依頼があった。支援委員会を立ち上げ、全面的に本会が責任をもって行う。

- ・費用に関しては、テーピング・飲み物等や当日の出席者への食事代（1日：2,000円）を支給する。

- ・できれば奈良士会員で支援したいが、今回初めての支援となるため、高校野球サポート経験の

ある県外のPTの先生にも手伝ってもらいたい。県外の先生に対し、食事代は支給するが、交通費は支給すべきかどうか。

⇒検討の結果、士会員同様に食事代2,000円のみを支給することが決められた。

- ・11/27に第2回スポーツ理学療法勉強会、アスリートケア奈良勉強会の開催を予定していたが、第3回研修会と第19回公開講座と開催日が重なるため、開催日を11/20で調整してもらう。
- ・奈良マラソンメディカルサポート委員会を立ち上げ、畿央大学の福本先生が委員長を務めることが決められた。

(3)山口衆議院議員の組織作りと入会勧誘活動について（尾崎会長）

- ・山口衆議院議員が参議院議員選挙の全国区で出馬する時に、全国レベルでサポートしていく。奈良県では会員数に見合わせて、目標数1,160人のサポートを作りたい。近畿学会時に打ち合わせがあるため、組織作りに関して、事務局長を早急に決めたい。

⇒西田理事が組織の事務局長を務めることが決められた。

(4)理学療法士の派遣について（佐藤理事）

- ・ひかり事業団（県から委託され、森永ヒ素ミルク中毒事件を支援している事業団）の保健師から患者へのPT介入の相談・依頼があった。対応をどうすべきか。

⇒詳しい情報や条件等を収集してから理事会にて検討する。

(5)大和郡山市在宅医療介護従事者講習会について（佐藤理事）

- ・資料ができたのでMLにて報告する。HP上へも広報を依頼したい。

(6)理事会の日程について（尾崎会長）

- ・今後の理事会の日程は1/14、2/19（拡大理事会）、3/17とする。
- ・総会は5/19（仮）開催予定とする。

以上

賛助会員一覧

(株)日本メディックス	564-0044	吹田市南金田町2-12-18	06-6369-1201
酒井医療株式会社	565-0853	大阪府吹田市春日3-20-8	06-6386-3545
(株)富金原義肢製作所	571-0039	門真市速見町2101	06-6909-6528
(有)カンサイ義肢	571-0048	門真市新橋町29-1	06-6908-0911
(有)ウィンド	630-0211	生駒市桜ヶ丘5-29	0743-75-3887
(株)奈良義肢	630-8435	奈良市西九条3-2-23	0742-62-7979
奈良ニッセイエデンの園	636-0071	北葛城郡河合町高塚台1-8-1	0745-33-2222
(株)イカリトンボ、ケアホープ	636-0154	生駒郡斑鳩町竜田西4-1-40	0745-75-2028
テクノブレース	636-0247	磯城郡田原本町阪手13-7	07443-2-5893
(株)川村義肢エイドセンター奈良	636-0343	磯城郡田原本町大字秦庄432-15	07443-2-8891
ツザキ・ケア・ブレイス	636-0347	磯城郡田原本町新木1-141	07443-3-3678
(株)大床義肢	639-1045	大和郡山市小林町西1-4-7	0743-56-8944
山一株式会社	550-0001	大阪市西区土佐堀1-4-11 金島土佐堀ビル5階	06-6447-5924

会員数・施設数動向

平成23年11月30日現在

	施設数	会員数
病 院	61	590
診療所・医院	9	13
老健・特養・デイサービス	40	70
訪問看護ステーション	10	20
市 町 村	2	2
P T養成校	4	30
自 宅 会 員	70
総施設数	※ 126 施設	
総会員数		795 名

※ 施設数には自宅会員を含んでいません。

理学療法士・作業療法士募集

リハビリテーション科専門医と一緒に、リハビリチームの一員として働きませんか？

仕 事：入院・外来患者様のリハビリ又は訪問リハビリ
 給 与：基本給17.2万円～25.3万円(経験・能力により優遇)
 勤務時間：8：30～17：30 休日：完全週休2日制、夏季、年末年始
 待 遇：交通費支給、扶養手当、住宅手当、訪問手当、各種保険、有給休暇あり
 マイカー通勤可(橿原・五條から30分程度)

医療法人八甲会 潮田病院 内科・神経内科・リハビリテーション科・婦人科・外科

吉野郡吉野町上市2135(近鉄吉野線大和上市駅下車スグ)

TEL0746-32-3381 E-MAIL：office01@ushioda-hospital.or.jp 担当：矢野

常勤理学療法士募集

雇用形態：正社員

仕事内容：整形外科外来で医師の片腕となってリハビリによる治療を行う。

若年層のスポーツ障害に対する積極的治療・指導。高齢者のリハビリ。電子カルテによる記録

応募要件：40歳以下 学歴不問 運動器リハビリテーション経験5年以上 スポーツリハビリ経験者優遇

給 与：賃金 a.基本給：220,000円～

b.定額的に支払われる手当：0円～100,000円

a+b.220,000円～320,000円

通勤手当 実費支給（上限あり） 保険：雇用・労災・健康

マイカー通勤：可

備 考：試用期間3ヶ月あります。（同条件ですが、職能給は一カ月後に決定）

先に履歴書を郵送して下さい。（下記クリニック住所あて） 選考の結果、後日面接のご連絡をいたします。

特記事項：スポーツリハビリについての研修あり。



☎639-0266 香芝市旭ヶ丘4-2-1 ☎0745-77-2121

生駒市承認：地域密着型小規模多機能事業所オープン!! 訪問&リハセンター：理学療法士・作業療法士募集

“急性期から在宅へ”コンセプトは『Re:日常』在宅リハと施設リハの連携・融合を目指して
4月より「リハビリ特化」地域密着型小規模多機能事業所【いこいの家26】を開設します

在宅に興味はあるが怖くて踏み切れない人も、志があれば大丈夫です。コミュニケーションや
リスク管理が出来るまではリハセンターで経験を積んで、自信が出来てから在宅へ進めます。

★各種保険完備、勤務応相談、給与当社規定による、能力加算有。お気軽にお問い合わせ下さい

いこいの家訪問看護ステーション 株式会社ライフケア創合研究所 担当：湯川

〒630-0243 奈良県生駒市俣口町814番地1 ハイネス生駒302号

TEL：0743-70-8300 e-mail：ikoi@kcn.jp http://lifecarejp.com/

施設と地域をつなごう！ならリハビリテーションネットワークメンバー募集中



理学・作業療法士募集

理学・作業療法士が行うリハビリ中心の半日デイサービスです。

勤務形態：正規職員 パート職員

営業日：月曜～金曜 8：30～17：00

休日：土・日・祝日 夏季・冬季休業日

勤務地：リハビリトゥモロー（大和高田市）

リハビリトゥモロー香芝（香芝市）

賃 金：正規 220,000円（経験加算） パート 時給2,500円

(株)トゥモロー健康科学 リハビリトゥモロー

奈良県大和高田市大谷355-2-102 電話：0745-23-3113 担当：宇保